



かつて、鬼怒川、男鹿川に沿った会津街道の宿場として開けた藤原地域には、温泉保養地として古い歴史があります。

今、ここ鬼怒川・川治温泉では恵まれた自然環境を舞台に、市民によって創意をこらした地域づくりが進められています。

藤原の明日を語る会の 主な取組み



川治振興青年会の 主な取組み

●ふれあい橋のビアガーデン

温泉街にかかる橋。ふれあい橋には歌や踊りで日頃の練習の成果を披露するグループ、観光客、地域の家族連れがたくさん集まります。

一回限りの計画で始まったこのイベントも、協力団体を増やしつつ、多くの困難を乗り越えて、今年で四年目を迎えます。

●ゆままにカナディアンカヌーin川治

カヌーに乗って川面から見る風景はまた一味違います。家族で自然を存分に満喫してください。

●川治 屋台夜祭り

会場にはたくさんの屋台が並びます。かがり火のもと舞台上で繰り広げられる歌と踊り。洗練された演出が参加者を幻想の世界へと導きます。



カンパ〜イ



▲ふれあい橋の
ビアガーデン
よってらっしゃい!
みてらっしゃい!

▶藤原の明日を語る
会の打ち合わせ
まじめに、まじめに



▲カヌー
かあ〜っこいい!
◀川治 屋台夜祭り
大迫力!

藤原の明日を語る会

町の活性化を目指した懇談会が行政の提案で実施されました。会合を重ねる中で、ひとりの参加者から貴重な発言が出ます。

一行政が度々こういった話し合いの場を設定してくれているが、いつもここで終わってしまう…。

このままでいいのだろうか。

このひと言を待っていたかのように、市民が中心になって「藤原の明日を語る会」が活動を始めました。

我々の町を夢と希望あふれる町にしたい…。

明日を語る会をリードする筒井 巖さんは語ってくれました。

川治振興青年会

青年はどんどんやれ、大人が支援する一。

青年層が活動の中心を担って、物心両面で地域がその活動を支えます。

まさに青年の活動という、点から地域の面へと拡大した地域づくりが行なわれています。

自分を育ててくれた川治が、次世代の子供たちにとってすばらしい町になるように…。

さまざまなイベントを通じ「川治らしさ」の実現を目指して、会長の田中祐一さんとその仲間たちは頑張ります。